

# ★ベーデン・パウエル Robert Stephenson Smyth Baden-Powell

ボーイスカウト運動の創始者（1857.2.22～1941.1.8）

1857年（安政4年）2月22日、イギリス・ロンドン、ハイパークの近くに生まれる。父はオックスフォード大学教授。母（ヘンリエッタ・グレース1824～1914）はイギリス海軍の名門スミス家の出で、良妻賢母であった。ベーデン・パウエルは両親の8番目の子供であった。4歳で父を失い、母の愛情のもとで育った。絵画、文筆の才能があったが、左利きであった。13歳でチャーターハウスに入学し、18歳の時、オックスフォード大学の受験に失敗し、1876年19歳の時、イギリス陸軍の騎兵士官の選抜試験を受け、718名のうち5番の成績で合格し、騎兵士官候補生となった。このようにして、ベーデンパウエルの軍人生活が始まった。

1867年、若い陸軍の将校としてインドへ行った。そのとき、偵察活動、地図の作り方及び報告の仕方を研究した。これらの研究は、少年を訓練する際に非常に役にたった。インド戦線、アフリカ戦線をはじめ、1899年のボーア戦争、マフェキングの包囲戦をへて、マフェキングの英雄としてイギリス国民から祝福を受けた。マフェキング包囲戦では少年を伝令として使ったが、少年兵の訓練法の中に少年を訓練するための基本的な考え方が見受けられる。ベーデンパウエルの訓練を特に熱心に受け、活躍した少年兵に対し、ベーデンパウエルは North compass point をもとに作られた章を授与した。現在の各種のスカウト章は、それと大変よく似ている。1907年に50歳で軍人生活を退くまでに、軍人生活の中で、人間にとって観察力、推理力の重要性を感じ、これが後のスカウティングの班制度と進歩制度のヒントになった。ベーデンパウエルはアフリカでは、太陽と雨から身を守るために、常につばの広い帽子をかぶり、陸軍技師が使っている長い杖を持ち歩いていた。42歳の時「Aids to Scouting（斥候の手引）」を出版し、10万部が学校で用いられ、いずれ少年向けのものを書かねばならないと思った。軍隊を退役する頃、イギリスは大不況で、国勢は衰え社会は悪化の一途をたどっていた。特に少年の非行が多く、なんとかせねばならないと思っていた。

1907年5月5日、陸軍中將として退役後、ベーデンパウエルは第2の人生を歩むことになる。

1907年7月29日、21人の健康な少年を選び出し、ブラウンシー島での「実験キャンプ」を実施し（実際に参加したのは20名の少年）、その翌年1908年1月に「スカウティング フォア ボーイズ」創刊号を発刊した。これは隔週発行の雑誌で、1冊4ペンスであった。創刊された直後から少年達の大ベストセラーとなって、少年達は、その方法にしたがって自分達で班を作り、ボーイスカウトとしての活動を始め、現在のように世界の主要なボランティア活動に発展した。

以下、年表で示すと・・・

1908年（明治41年）1月28日、ロンドンにスカウト運動の事務所を置く。

1911年（明治45年）、日本の東郷元帥、乃木大将と会見する。

1912年（大正元年）世界旅行の際、4月16日、日本を訪問する。

10月30日、オレブ・セントクライヤー・ソアムス女史と結婚。

1916年（大正5年）ガールガイド（日本のガールスカウト）の組織が生まれる。

夫人がその委員長となる。「ウルフカプス・ハンドブック」出版。

ウルフカブ（日本のカプスカウト）が発生する。

1917年（大正6年）「ガールガイディング」出版。

1919年（大正8年）指導者訓練のために、ギルウェルパークにトレーニングセンターを開設。

その後、世界の指導者訓練のメッカとなる。

1920年（大正9年）第1回世界ジャンボリー開催。少年達より「チーフスカウト・オブ・ザ・ワールド」（世界の総長）の栄号を贈られる。

「Aids to Scoutmastership」（隊長の手引）を発刊。

1921年（大正10年）5月17日、午後6時30分、昭和天皇とロンドンで会見。ベーデンパウエルは昭和天皇にイギリスボーイスカウトの最高栄誉である「シルバー・ウルフ章」を献上。準男爵になる。

1922年（大正11年）「ローバーリング・ツゥ・サクセス」を発刊。

1923年（大正12年）ビクトリア大十字勲章を授けられる。

トロント、マックギル、オックスフォードの各大学より法学博士号を贈られる。

1927年（昭和2年）1928年度のノーベル平和賞の最適人者として、ノーベル委員会に推薦される。結果としては授賞されなかった。

1929年（昭和4年）男爵となる。（Lord Baden-Powell of Gilwell）

イギリスの習慣として爵位の後に地名をつけるので多くの人は「マフェキングの英雄」として当然マフェキングとすべきだと主張したが、ベーデンパウエルはボーイスカウト運動の性質から「ギルウェル」とした。ロード・ベーデンパウエル・オブ・ギルウェル

1931年（昭和6年）ケンブリッジ大学より法学博士号を贈られる。

夫人は「世界ガールガイド総長」に推される。

1939年（昭和14年）ノーベル平和賞が贈られることに決定する。しかし皮肉なことには、1939年にはヒトラーの進撃でノーベル平和賞は受賞者なしとなる。

1941年（昭和16年）1月8日、午前5時45分、東アフリカのケニアのニエリ野荘にて、一生を終わる。  
（享年84歳）

ベーデンパウエルの墓碑はロンドンのウエストminster寺院の中にあり、ボーイスカウトとガールガイド（ガールスカウト）の旗に飾られて、ここを訪れる人々に微笑みかけている。

※（Baden-Powellの発音について）

日本語での表記は「ベーデン・パウエル」にしようということが昭和35年、日本連盟事務局で定められている。「ベーデン・ポーエル」と表記した書物もあるが、一応、ベーデン・パウエルに統一されているようである。

Baden-Powellの発音であるが、これはパウエルよりもポーエルに近い。このことはベーデン・パウエル自身が次のように書いている。

Man,Nation,Maiden. Please,call it Baden.

Futher,for Powell. Rhyme it with Noel.

(The Scoutmasters Guide from A to Z)

Man,Nation の a のように エ の音で BadenをMaiden のように発音して下さい。

さらに Powell については、Noel の発音がもつと同じ韻（いん）をふむこと。

ベーデン・パウエルは Maiden Noel のような感じで発音するのが一番正しいと彼は言っている。日本語で、できるだけ忠実に表すとすれば「ベイデン・ポーエル」になる。レディー・ベーデン・パウエルが日本を訪れたとき、吉川哲雄氏が正しい発音を尋ねたところ、やはり Baden は Maiden のように Powell は Noel のように発音するということであった。Maiden Noel とは（乙女のクリスマス祝歌）という意味である。

#### 【参考】

※ベーデンパウエルの父 B-P教授 Professor B-P

Oxford の Oriel Collage を卒業。オックスフォード大学教授。自然科学の知識が豊富で、特に光学と放射線学  
研究の物理学者であった。

1824 a Fellow of the Royal Society.

1827 Savilian Professor of Geometry (Oxford)

1850 Royal Commission member.

1837年 先妻 Charlotte Pope と結婚し、一男三女をもうけるが、1844年に先妻が死去した後、Henrietta Grace と再婚する（1846年）。

七男三女をもうけ、ベーデンパウエルは六男として生まれた。

1860年死去、ベーデンパウエルの4歳の時であった。

ベーデンパウエルの感じた父・B-P教授は神学者で熱心なクリスチャン。神を愛し、男性的で自己の信念に忠実であった。ユーモアに富んだ熱心な自然研究家。他人に親切で家族を愛した人間であった。

※ベーデンパウエルの母 Mrs. Henrietta Grace

Admiral William H. Smyth の長女として生まれ、B-P教授と結婚したとき先妻の子供が4人あり、B-P教授の死去の時、七男一女があった。早教育の実施、野外生活の観察重視の教育で子供を育て、家庭を守りよき母であった。ベーデンパウエルのスカウティング創始にあたり、陰のよき助言者であった。1914年（大正2年）90歳で死去。

◎ベーデンパウエルの兄弟姉妹

①長男 Sir Henry Warington Smyth Powell B-P (1847.2.3~1921) knight

②二男 Sir George Smyth B-P (1847.12.24~1898) Baronet

③三男 Augustus (1849.5 13歳で死亡)

④四男 Francis Smyth B-P (1850.7~1933) 弁護士、画家、彫刻家

⑤長女 Henrietta Smyth B-P (1851.10 3歳にならずして死去)

⑥五男 John Penrose Smyth B-P (1852.12 夭死)

⑦二女 Jessie Smyth B-P (1855.11 生後8か月で死去)

⑧六男 Robert Stephenson Smyth B-P (1857.2.22~1941.1.8)

⑨三女 Agnes Smyth B-P (1858.12~1945.6.2) 初代 Girl Guide の会長

⑩七男 Baden Fletcher Smyth B-P (1860.5~?) 少佐